

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月22日 (2019.3.22)

【公開番号】特開2019-7016(P2019-7016A)

【公開日】平成31年1月17日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2018-153439(P2018-153439)

【国際特許分類】

C 0 8 F	2/38	(2006.01)
A 6 1 K	6/00	(2006.01)
A 6 1 K	6/027	(2006.01)
A 6 1 K	6/083	(2006.01)
C 0 7 C	69/54	(2006.01)
C 0 7 F	9/09	(2006.01)
C 0 7 F	7/18	(2006.01)
C 0 9 D	4/00	(2006.01)
C 0 9 J	4/00	(2006.01)
C 0 9 J	11/04	(2006.01)
C 0 8 F	2/44	(2006.01)
C 0 8 F	20/10	(2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F	2/38	
A 6 1 K	6/00	A
A 6 1 K	6/027	
A 6 1 K	6/083	5 0 0
A 6 1 K	6/083	5 3 0
C 0 7 C	69/54	C S P Z
C 0 7 F	9/09	K
C 0 7 F	7/18	L
C 0 9 D	4/00	
C 0 9 J	4/00	
C 0 9 J	11/04	
C 0 8 F	2/44	A
C 0 8 F	20/10	

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月1日 (2019.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

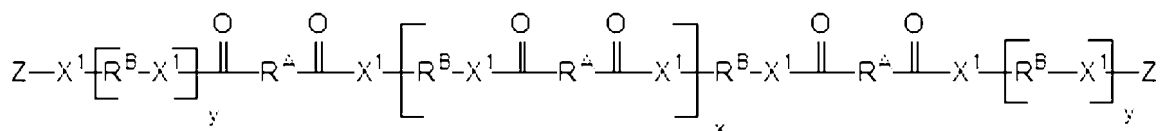
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

## 【化 1】



[ 式中、

$R^A$  は、配向性がない 1 - メチレン - 3 , 3 - ジメチルプロピル基であり、

$R^B$  は、置換されていてもよいヒドロカルビル基であって、少なくとも 2 つの  $R^B$  基は  
接着した基材の表面に対し結合又はエッチングする官能基 D で置換されており；

$X^1$  は - O - 又は  $NR^5$  - であり、 $R^5$  は H 又は  $C_1 \sim C_4$  アルキルであり；

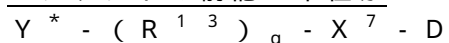
Z はエチレン性不飽和重合性基を含み；

y は 0 又は 1 であり；

x は 0 ~ 20 であり、

基材に対し結合又はエッチングする前記 D 基が、モノホスフェート、ホスホネート、ホ  
スホン酸、ホスフィン、ヒドロキサム酸、カルボン酸、アセト酢酸、スルフィン酸、スル  
ホン酸から選択され、

ペンダントの前記 D 単位が



[ 式中、

$Y^*$  は、前記 B 単位の求電子性基及び求核性基と、基材の表面に対し結合又はエッチン  
グする基を含む D 化合物との反応により形成される官能基であり、

$R^{13}$  は (ヘテロ) ヒドロカルビル基であり、

q は 0 又は 1 であり、

$X^7$  は共有結合又は二価の連結基から選択され、

D は下にある前記基材に対し結合又はエッチングする官能基である。 ] により表され得  
るものである ]

の付加 - 開裂オリゴマー。